

与 広報 よろん

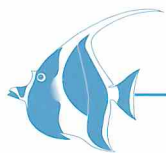


平成 25 年
9 月 号

ひとの動き（平成25年8月末現在）

●人口 5,466人（男2,650人・女2,813人） ●2,482世帯

7・8月分 ●出生 10人 ●転入 30人
●死亡 13人 ●転出 30人



第43回ヨロサンゴ祭



与論の夏の風物詩『ヨロサンゴ祭』が、8月10日・11日の二日間、茶花海岸において開催された。

初日は、恒例のパレード（茶花銀座通りと中央通り）をかわきりに祭がスタート。与論中高吹奏楽部の元気な演奏を先頭に、集落子ども会、老人クラブ、地女連、ゆんぬエイサー等と続く各種団体のパフォーマンスに、沿道はたくさんの人で埋め尽くされ歓声と笑いでいっぱいになった。パレードが会場へ移ると、地女連につられて来場者が大きな盆踊りの輪となった。

ステージは、沖縄から北山高校ダンス部、アイドルグループQT BLUE、シンガーソングライター崎濱唯が来島し、また鹿児島国際大学のよさこい創生児、与論の町舞踊団や舞弦鼓エイサー、ザ・モンローズと多種多様のパフォーマンスで盛り上がった。

二日目は、午前中に相撲大会、午後からハーリー大会やビーチサッカー、ビーチフラッグ、宝探しが催され、子供から大人まで暑い日差しの中で熱い闘いが繰り広げられた。

夜の部では、ステージ裏の海に夕日の落ちる中、フラダンスや沖縄の越来青年会エイサー、サンゴQ&A、そして子供たちに大人気の青年団手作りサンゴファイターショーに会場の歓声が途切れることはなかった。また、KACHIN NBAのライブではラテンのリズムが南国の夏祭りの雰囲気を一層高め、音と光のレーザーショーと花火大会が与論の夜空を綺麗に彩り、会場につめかけた観客は夏のひとときを楽しんでいた。

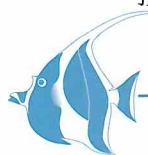


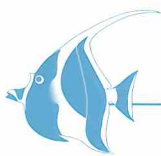
ごあいさつ

ヨロサンゴ祭実行委員会
委員長 冲道成
平素より私ども与論町連合青年団の育成や活動に対し、格別なるご指導ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

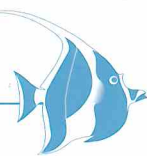
この度、第43回ヨロサンゴ祭を開催するにあたり、島内外の企業や多くの島民の皆様方のご協力ご理解を頂き、何事もなく盛大に行えましたこと青年団・サンゴ祭実行委員会一同心より感謝申し上げます。ミッシークトートウガナシ。

私たち青年は、先輩たちの守ってきた郷土与論を未来へとつなぐがねばなりません。サンゴ祭の運営はもとより、生まれ育ったこの島に何を恩返ししていいのか考え、島の後輩が希望を持って帰って来られる与論がいつまでも続くように、青年団一同努めて参る所存です。今後ともご指導ご鞭撻下さいますようお願い申し上げます。





知っておきたい わが町の財政状況



貸借対照表

Balance Sheet

町がどれほどの資産を所有し、債務を負っているかのバランスを明らかにしたものです。町の資産と、その資産をどのような財源（負債や純資産）で賄ってきたかが分かります。左側にこれまで取得した土地や建物・預金などの「資産」を、右側にその資産を形成したことによる将来世代の負担である「負債」と、これまでの世代が既に負担したものの「純資産」を表しています。

資産の部		負債の部	
【公共資産】	14,632,945	【固定負債】	5,670,780
【投資等】	1,406,808	地方債	4,602,698
投資及び出資	556,648	退職手当引当	1,068,082
基金等	772,070	…将来の退職給付支払の見込み額	0
その他	78,090	その他	0
【流動資産】	797,756	【流動負債】	608,376
現金・預金	786,125	翌年度償還予定地方	561,682
(うち歳計現金)	(278,212)	…一年以内に償還期限の到来する地方債	
未収金	11,631	賞与引当金	46,694
		…将来支払う事になるであろう賞与	
		その他	0
資産合計	16,837,509	負債合計	6,279,156
		純資産の部	
		純資産合計	10,558,353
		負債及び純資産合	16,837,509

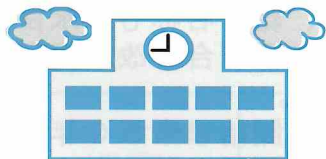


(単位：千円)

- ・公共資産は、家や家具や車など
- ・投資は、定期預金や積立保険金や株など
- ・流動資産は、普通預金やタンス預金など
- ・負債は、まだ払い終わっていないローン残高や子供に将来かかる進学費用など

住民一人あたりの資産 総額 約311万900円

公共資産	約270万3600円	投資	約25万9400円	固定負債	約104万7200円
		流動資産	約14万7900円	流動負債	約11万2200円
				純資産	約195万1400円



主な財政用語について

【資産の部】
道路、小・中学校など公共施設の現在価値のほか、他団体に對する出資金や預金など、これまで積み上げてきた金額。

【負債の部】
借入金、退職手当の引当金など、将来の世代が負担しなければならない金額。

【純資産の部】
資産のうち税金などによって形成され、これまでの世代が負担した金額。

【公共資産】
自治体が所有する資産（公共施設）のうち、長期間にわたって行政サービスの提供に使用される資産。

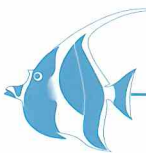
【投資等】
自治体が保有する有価証券、特定の目的で積み立てた基金や、公営企業・関係団体への出資金などの総額。

【流動資産】
原則として1年以内に現金化される資産や、現金・預金・地方税などの未収金の総額。

【固定負債】
長期借入金や退職給与引当金など、返済期限が1年以上の負債。

【流動負債】
買掛金や短期借入金など、1年以内に返済が可能な負債。





お知らせ



九州電力保安部
ですが……



九州電力関係者を装った 詐欺・窃盗や勧誘にご注意ください

⚠ こんな電話・勧誘にご注意ください!

「九州電力保安部」「九州電力保安部コールセンター」等を名乗り、あたかも当社からの電話と思わせお客様へ「電気料金が安くなる」とか「動力のご契約を変更しませんか?」というような勧誘を行う事象が発生しています。

当社にこれらの部署は存在せず、当社からこのような勧誘活動はおこなっていませんので、十分ご注意ください。

⚠ 訪問勧誘で疑わしいと思ったら!?

当社社員や当社関係会社社員は「身分証明書」を携行しておりますので、訪問勧誘で「何かおかしいなあ!?!」と思われたら、身分証明書の提示を求めるなど確認をしてください。

その他、不審に思われたら、九州電力までご連絡ください。



九州電力

ずっと先まで、明るくしたい。

奄美営業所(コールセンター)

沖永良部与論地区消防組合発足30周年

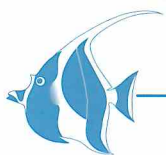


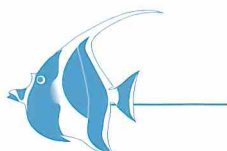
昭和58年4月に沖永良部与論地区消防組合として発足し、消防・救急の業務を行い、平成11年6月に、新たに介護認定審査に関する業務を加え、組合名称も沖永良部与論地区広域事務組合と改め現在にいたっています。

業務を開始以来30年、各構成町をはじめ関係機関、なにより地域住民のご協力により今日まで、消防・救急・救助活動をはじめ各種災害に対応し得る組織、施設、装備の充実をはかってまいりました。

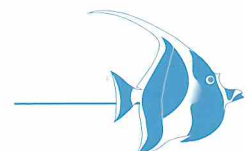
30周年という節目の年を迎え、地域住民の安全と安心さらには財産を守る為、関係機関と連携を密にして、職員一同、地域住民の大きな信頼と期待に応えるべく、なお一層の研鑽と努力をしてまいりますので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

沖永良部与論地区広域事務組合 消防長 西田 寛





浄化槽法定検査（法第11条）受検のお願い



この検査は、浄化槽の適正な維持管理による環境保全を目的に実施するもので、知事が指定した検査機関である(公財)鹿児島県環境検査センターの検査員が事前にハガキで通知した検査日にお伺いし、現場での検査と浄化槽の放流水を採水し持ち帰っての水質検査を行います。(地元の保守点検業者が行う保守点検とは別のものです。)

毎年1回実施することとなっているこの検査は、11人槽以上及び官公署の浄化槽を検査対象としていましたが、平成17年度から10人槽以下の家庭槽も検査対象となりました。

検査対象となった浄化槽(設置年度ごとに対象としています)については事前に指定検査機関から日程通知がありますので必ず受検していただきますようお願いいたします。

検査手数料(5～10人槽)

検査料金	単独処理浄化槽	合併処理浄化槽
定期検査	4,000円	6,000円

問い合わせ先

(公財)鹿児島県環境検査センター
 TEL 099-296-9000
<http://www.kagoshimakensa.or.jp>
 鹿児島県生活排水対策室
 TEL 099-286-3685
 与論町環境課
 TEL 0997-97-4712



平成25年10月分から 各種福祉手当の額が変わります！

今回、下記の各福祉手当の支給に関する法律が一部改正されたことに伴い、現在の特例水準(1.7%)が、段階的に解消されることになり、平成25年10月分からの各福祉手当の額が下記のとおり変更されることになりましたのでお知らせいたします。

○児童扶養手当

ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、子どもの福祉の増進を図ることを目的として支給される手当です。

	現 在	平成25年10月分～
支給額 (月額)	41,430 円～ 9,780 円	→ 41,140 円～ 9,710 円

○特別児童扶養手当

20歳未満で心身に障害のある児童の扶養のために、その父、母、又は養育者に対して手当を支給する制度です。

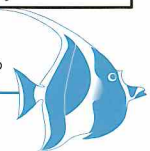
	現 在	平成25年10月分～
1 級 (月額)	50,400 円	→ 50,050 円
2 級 (月額)	33,570 円	→ 33,330 円

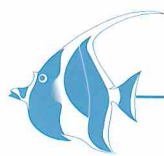
○特別障害者手当等

心身に著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の障害者(児)に支給する手当です。

	現 在	平成25年10月分～
特別障害者手当 (月額)	26,260 円	→ 26,080 円
障害児福祉手当 (月額)	14,280 円	→ 14,180 円
経過福祉手当 (月額)	14,280 円	→ 14,180 円

☆詳しい内容やご不明点等は 97-4930 (町民福祉課 担当 町, 平川) までお電話ください。





ジオパークってなに？

町岡安博

ジオパーク（英：geopark）とは、地球科学的に見て重要な自然の遺産を含む、自然に親しむための公園。日本ジオパーク委員会では「大地の公園」という言葉を使っている。地球科学的に見て重要な特徴を複数有するだけでなく、その他の自然遺産や文化遺産を有する地域が、それらの様々な遺産を有機的に結びつけて保全や教育、ツーリズムに利用しながら地域の持続的な経済発展を目指す仕組みである。2004年に国際連合教育科学文化機関（ユネスコ）の支援により、世界ジオパークネットワークが発足した。日本国内で世界ジオパークに認定された地域は洞爺湖有珠山（北海道）、糸魚川（新潟県）、島原半島（長崎県）など5か所しかない。また日本ジオパーク委員会が認定した地域は25地域で、鹿児島県内では霧島ジ

オパークがある。

与論島のジオサイト

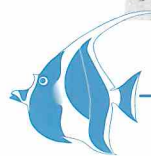
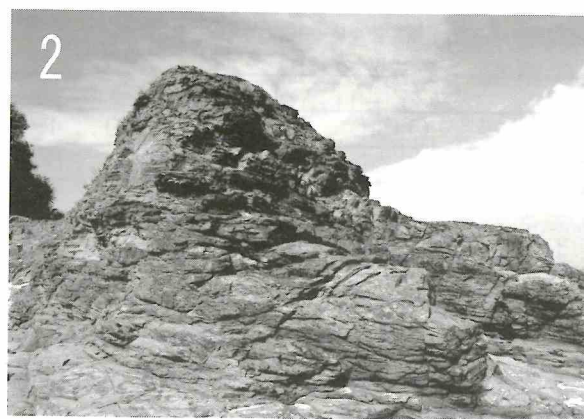
与論島は活発な地殻変動を体感できるジオサイトだ。連続性のよいサンゴ礁が島をとりまき、過去のサンゴ礁が隆起した海成段丘は人間活動の舞台を提供している。海成段丘に走る2本の活断層は島を3つに分け、断層がつくる崖には島を支える基盤岩と隆起したサンゴ礁の堆積物が露出している。

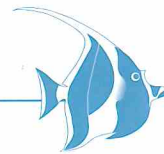
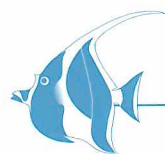
現在、与論町は本部半島ジオパーク推進協議会が進めている本部半島エリアのジオパーク構想（本部半島・伊平屋島・伊是名島・伊江島・辺戸岬・与論島）に含まれており、日本ジオパークへの登録認定の活動を行っている。

★舵引き丘（ハジビキパンタ）では南北にのびる辻宮断層と東西に伸びる朝戸断層、さらに島の北東部に発達する海成段丘を一望できる。（写真1）

★赤崎海岸ではマグマが固まった火山岩、サンゴ礁を起源とする生物源の堆積岩、陸から運ばれた碎屑物が海底でたまった陸源性の堆積岩が海岸に露出している。（写真2）

★立長の海岸には海洋プレートでできた付加体の石灰岩があり、沖縄の本部半島にある「本部層」と同じ古生代（約2億5千万年以上前）の地層と考えられている。（写真3）





島ぬ宝

竹下 徹

「僕が生まれたこの島の・・・を僕はどれくらい知ってるんだろ・・・」「島人ぬ宝」の歌い出しの文句である。

本部半島を中心に伊江島、伊是名島、伊平屋島、与論島、辺戸岬を巡る地域を「ジオパーク」として認定を受けようという活動が行われている。「ジオ」とは大地の変化と人間の歴史を一体的にみていこうというもので、大地の営みを保存し、教育と観光に活かしていこうとするものである。

与論島は、二つの断層で区切られている。シゴーからハジピキを通じてヤグラに至る辻宮断層と高千穂神社からウーニヌムイの東西に走る朝戸断層である。これらの断層は活断層とすることである。古里、叶、那間には五つの段丘（ウロウ、山脈）がある。これらの段丘の内側はその昔イノー

だった。与論島が次々と隆起して陸になった。ウーチからミナタ、アーサキに至るピシバナは何万年か後には陸になって、現在のイノーが豊かな畑になる。

大昔、ヲウナキー（兄妹、夫婦）が漁に出たら大海原の真ん中で舟の舵がひっかった。そこに二人が降り立つと潮が引き潮になった。続けてミイラ岳が陸になり、東側も陸になってつながつた。よい島だといって二人は家を建てて住んだ。庭で鳥がマグワウ（交尾）のを見て、二人もまぐわいをして子を産み、島を栄えさせたとの伝説がある。ハジピキパンタの名前はこれにちなんだといわれている。

与論島のマー石層は、与論から見える辺戸岬のマー石ハンバラや本部半島のマー石山と繋がっている。振った雨は地下にしみ込み基盤の上を流れて海に出る。赤崎鍾乳洞でその流れが見える。与論島は、成り立ちや地形、「ジオ」にも富んだ島だといふ。

八月八・九日、与論城跡の調査のために国から専門分野の異なる五名からなる与論城跡調査団が派遣されてきた。郷土研究会のメンバー数名が付いて回った。城跡の大きさ、形状、石積みなどを調査していた。通称龍の頭といわれている石積みから、崖の中腹にある石垣や焼き物のかけら遺物など念入りに見ている。グスク（城）と呼ばれるのが二百ほどあるなかで、与論城は八番目の規模だという。調査の結果、与論城は、堅牢で独特な造りをしていて歴史的にとっても貴重だとのことである。

団員の山本氏は、次のように述べている。

「与論城は、大規模、且つ琉球王とのかかわりが指摘できる重要遺跡であるにもかかわらず、近年、さまざまな近代施設の設置により景観が著しく変貌している。それと共に公園整備に名を借りた遺跡破壊が発掘調査の手続きも行われずに現在、進行している。それは同時に南西諸島の一小島がかつて広域的に海

外と関わっていたという物的証拠を消失させる行為に等しいと言える」。

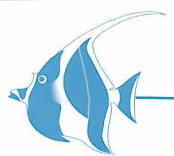
島外者から宝がごろごろしているのを教えてもらってびっくり、しゃっくりしたところである。

ハジピキパンタ

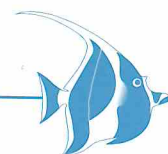


ハキビナの古期石灰岩





平成25年度まちづくり懇談会



町民のみなさまから町政に対する意見や要望を伺う、まちづくり懇談会が6月7日、与論町地域福祉センターで開催されました。まちづくり懇談会では、町長及び教育長から町政と町教育行政について概要説明がなされました。また、事前にいただいた質問に対する説明の後、参加者との意見交換が行われました。ここで、主なものを紹介します。

質問 光事業を実施した明確な理由は何か。

総務企画課（後日回答） 光事業は、与論町第4次総合振興計画の「戦略プロジェクト」のなかで「情報の島づくりプラン」として位置づけられており、情報基盤の整備や教育および企業誘致を推進するために実施した。

質問 モニター会議で停電時、ひかり電話が使えないことを指摘したが、どのような対策を検討したか。

町長 災害時の基地となる施設には非常電源を設置したいと考えている。災害時に連絡が取り合えるよう『離島の電柱の地下埋設』に

関する陳情をしており、またひかり電話を補う方法をやっていきたいと思う。

総務企画課（後日回答） 大きな台風災害時等の停電については、通話料金の軽減策をNTTに要請するとともに、町民には停電時の個人の選択肢として、光モバイロバッテリーや自家発電機等の購入、ひかり電話から加入電話（黒電話）への切り替えを提案したい。（停電時のひかり電話の電源確保対策について、行政が補える部分は引き続き検討していく）

質問 本年度の町政モニターは誰か。

総務企画課（後日回答） 町政モニター設置要綱の趣旨から、町政モニターに不利益を与えないようにするため個人名の積極的な公表は行わない。

質問 まちづくり懇談会への参加者が少ないが、どのように考えているか。

町長 二・三年前からやめた方がいいのではという声もあるが、多くの人が集まる方法を検討しながら継続したい。

質問 奄振予算を使って輸送コストを抑えることはできないか。

町長 航空路線運賃低減事業、航路運賃低減事業、農水産物輸送コスト支援事業に、奄振で51億円の予算を要求しようと運動している。

質問 役場職員の中にも、「一生懸命働いている人は働いており、ずっと立ち話をしている人は立ち話をしている」とか、「担当がないのでわからない」という話を聞くが、職員の勤務態勢、モラル関係・職員間の調整を行い、行政運営を進めていただきたい。

町長 職員の指導については、改めてきちんとやりたい。

質問 農業だけではこの島の生活は支えられない。今、さとうきびも打撃を受け、相当あった観光収入も減額になっているというところ対策を検討していただきたい。

町長 観光については、観光客の見込み数の数的目標をたて取り組んでいる。

質問 奄美各市町村の生産見込みが、15・16・17号台風で減額になっているのに与論町だけ増額という結果になっている。サトウキビ

の生産見込み額はしっかりとしたものにしていただきたい。

町長 何度も予想をたて見積もりを行いました。なかなか判断できない状況であった。

質問 楽園荘から那間小学校へ行く一番上の所に車が四台一年以上放置されているが、どうするのか。

環境課長 与論の場合は農家の方々が廃車した後で、倉庫代わりに使い朽ち果ててきて移動ができなくなり、結果放置自動車のようなになっているケースがたくさんある。自動車は違法投棄されたものであれば、対処することになるので、早急に確認したい。

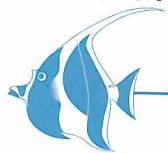
建設課長（後日回答） 現在、沖縄県警察署に対応を依頼している。

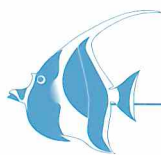
質問 教育委員は何名か、どういう基準で選ばれているのか教えてください。

教育長 元々教育委員は5名で、約6年前教育委員の任期が切れた段階で削減し、現在は3名となっている。

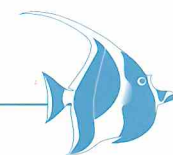
町長 教育委員は、町長が推薦して議会の承認を得ることになっている。

※詳細は与論町公式ホームページ(<http://yoron.jp>)、または与論町役場総務企画課までお問い合わせください。





8月14日(水) 静岡市青年の船 来島



8月14日(水)、静岡市青年の船40周年・与論島渡航35周年記念式典及び交流会が与論町中央公民館で、盛大に開催された。

この青年の船は、昭和49年に旧清水市青年団連絡協議会の主催により「清水青年の船」として始まり、今年で40周年、渡航地を与論島としてから35周年を迎えることとなった。

山梨剛(静岡市青年団連絡協議会会長) 実行委員長他42名の青年団員と役員経験者6名は、与論町青年団や歴代役員並びに与論高校生と交流を深めた。また、与論島渡航35周年を記念して、琴平神社入り口の駐車場に町木「クロキ」の記念植樹を行った。

※「静岡市青年の船」は、「青年は青年によって磨かれる」を合言葉に、運命共同体と呼ばれる船での洋上研修と与論島での現地研修や交流を通じて、次代を担う青年の地域や職域におけるリーダーとしての養成を目的として実施されており、全国にも例のない「青年自らの企画・運営」による事業である。



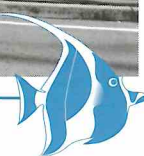
7月21日(日) 朝戸元気七夕祭り

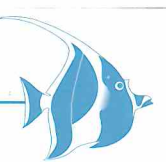
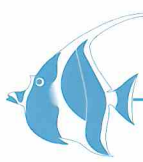


7月21日(日)、朝戸自治公民館広場において、第21回朝戸元気七夕祭りが開催された。午後6時、与論中学校前から祭りのオープニングを飾るパレードが出発。与論中学校・与論高等学校吹奏楽部を先頭に、二宮金次郎・盆踊り隊・朝戸元気クラブの子ども神輿と続き、恒例となった大道那太と按司根津栄を乗せた勇壮なサバニ神輿が沿道を沸かせていた。

今年は、朝戸青年団考案のキャラクター「あさとん」も登場し、子ども達は大喜び、金魚すくいやゲーム大会など、子ども達の笑顔がとても印象的だった。

願いを込めた短冊の揺れる七夕飾りと色とりどりの提灯で彩られた会場では、盆踊りや早食い競争、抽選会やカラオケ大会など、多様なプログラムで盛り上がり、夏休みのはじまりを感じさせる賑わいを見せていた。





バンブー竹の ユンヌ今昔

こどもの頃の遊びのひとつにトンボ釣りがあった。ギンヤンマのメスを捕まえて、それを糸でつないで飛ばすと、オスが近づいてきて交尾をする。交尾が終わわり、オスのしっぽの先がメスの頭をしっかり捉えたのを確認し、糸を手繰り寄せて捕まえる。魚釣りの要領と同じだ。

私(61歳)の子供の頃、家の前には田んぼが広がっていた。宿題の「夏休みの友」を放り出して、海に行けない時はセミやトンボを追っかけ遊び疲れて汗をかいた夕方、生ぬるい風の吹くあぜ道を水浴び場になっていた田んぼまで歩いた。

夕暮れ時になると、蚊柱が立つところトンボが群れて飛んでいた。
 ベーヤーやーやい
 ベーヤーやい
 わーしゃーまっくる
 しょどうるでんだい
 やーい やーい やーい

トンボさん オスのトンボさん 私のメスのトンボは本物の美人トンボだよ おいでよ おいで 結婚してよ・・・、とトンボ釣りの歌を歌い、オス・トンボを甘い言葉でおびき出すのだ。歌詞の意味を知ってか知らぬかは不明だが、罠とも知らず誘惑されたオス・トンボはメス・トンボに武者振りついてくる。おっとっとと、ここであわててはいけない。ちゃんと合体して連なって飛ぶのを確認してから手繰り寄せて地面におろしたところをぱっと抑えつける。これが遊び人の手管なのだ。真昼の炎天下、糸につないだメス・トンボを片手に、畑や野原の上空で縄張りを張っているオス・トンボを探し回った。もう帰らないあの夏の日は今どこに・・・。

さて、近年は田んぼが少なくなっているものの、干害対策用のため池のせいか水鳥や水生昆虫も多くなっている。久しぶりに珍しいトンボ

を発見した。こどもの頃は、もっと大きいと思っていたのに、写真に撮った個体は小さくてギンヤンマと同じぐらいだった。トーグイと呼んでいたがタイワンウチワヤンマと図鑑に載っている。もしかしたら、ただのウチワヤンマなのかもしれない。

追記

とんぼの めがねは
 水いろ めがね・・・

無邪気で純粋だった少年も、いつの間にか還暦を過ぎた、ただのおじさんになった。トンボのような複眼(広い視界)で世間を見渡しながら生きていけたらと思うこの頃、イプシロンの再打上げを待ちながら記す。



第18回子ども村inよろんに参加して

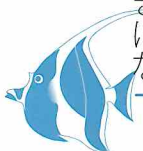
鹿児島県たいよう子ども劇場

濱田朋希(中3)

8月3日から12日の日程で、第18回子ども村inよろん(10日間長期自然体験キャンプ)が、与論島で開催された。親元から離れた83人の異年齢の子どもたちは、与論島の豊かな自然を舞台にして、百合が浜体験やキャンプファイヤー、村まつりなどの活動を、一致団結して自分たちの力でやり遂げた。

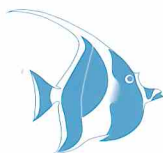
僕は与論に行つてとてもびっくりしました。一つは海です。あの透きとおった海は一回見たら忘れられません。二つ目は日差しが強いです。与論は気温はあまり高くはないのですが、日差しがとても凄くて刺さるようでした。鹿児島本島は日差しは強くなかったけど、気温が高いと思いました。

この十日間でまた、すごく与論の色々なところがわかり、また与論が好きになりました。





「サンキュー(3億9千万円)オータム!!秋の頂上へどうぞ。」

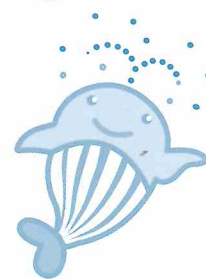
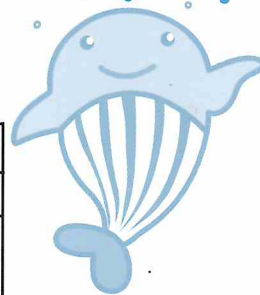


「オータムジャンボ宝くじ」が発売されます!

- 【発売計画額】 390億(13ユニット)
 【発売期間】 9月20日(金)～10月11日(金)
 【抽選日】 月20日(金)～10月11日(金)
 【発売場所】 全国の宝くじ売り場
 【当せん金】

等 級	等せん金	本 数	
		1ユニット	13ユニット
1等	3億3千万円	1本	13本
1等前後賞	3,000万円	2本	26本
1等組違賞	10万円	99本	1,287本
2等	1,000万円	10本	130本
3等	100万円	100本	1,300本
4等	3,000円	100,000本	1,300,000本
5等	300円	1,000,000本	13,000,000本
サンキューオータム賞	3万9千円	5,000本	65,000本

あなたに夢を。街に元気を。

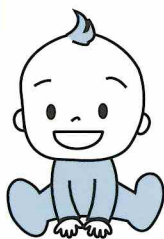


※ この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。



■ 8月届出分
 川上 隆行
 里 悠里恵
 Happy
 Wedding
 茶花 茶花

いつまでもお幸せに
 (氏名・地区)



毎日
 元気!!

■ 8月届出分
 麓 結生 ゆうせい 誘市郎 城
 山田 結梨 ゆうり 隆治 那間
 竹村 朱織 あかり 拓哉 茶花

■ 7月届出分
 (氏名・保護者・地区)
 若杉 咲希 さき 渉 畠 那間
 原田 夢生 ゆうき 菊広 茶花
 野田 詩歩莉 しほり 勇一 茶花

お誕生おめでとうございます

※婚姻、出生、死亡とも掲載承諾を頂いた方のみを掲載しています。(敬称略)

戸籍の窓
 8月 7月

税務課からのお知らせ!!

納期	一期	二期	三期	四期
税目				
軽自動車税	5月			
固定資産税	5月	7月	9月	11月
町民税	6月	8月	10月	1月

■ 8月届出分
 野村 勇 98歳 茶花
 高田 マツ 92歳 城
 豊山 トミ子 82歳 那間
 重久 えみ子 54歳 東区
 増尾 文偉 52歳 立長
 大田 豊 79歳 古里
 菊 東里 89歳 東区
 岩村 ウシ 100歳 立長
 川畑 カメ 92歳 城
 山下 中富 85歳 東区
 盛 直道 85歳 東区

■ 7月届出分
 (氏名・享年・地区)

ご冥福をお祈りします

- 税金の納期内納税にご協力ください。
- 納税には便利な講座振替をお願いします。



与論町町制施行 50 周年記念事業 南島原市・与論町親善交流サッカー大会



平成25年8月25日(日)、南島原市と与論町のサッカー親善試合が与論町総合グラウンドで開催された。南島原市(旧口之津町含む)とのサッカー交流は今回で3回目となり、真夏の日差しに負けない熱戦が繰り広げられた。試合は南島原市チームと本町から3チームが出場し、4チームの総当たり戦で行われた。優勝は南島原市、第2位はYKFCとアステカ48、第4位が与論O-40となった。

親善試合終了後は、地域福祉センターにおいて交流親睦会が開催され、本町の町制施行50周年の節目の年に、関係者一同は旧交を温め更なる絆を深めた。



与論町役場職場体験 (与論高校2年 益田 睦さん)



広報よろんの作成を实际やってみて、思っていたよりも難しかった。写真を一つ貼るにしても、切り取ったり色を変えたりと、とても大変な作業だった。でも担当職員の方が分かりやすく丁寧に教えてくださったので、楽しく落ち着いて作業をすることができた。今まで広報よろんはあまり読むことがなかったけど、こんなに大変な作業を経て美しくできあがっていると分かり、興味を持ったので、これからはしっかり丁寧に読みたいと思った。